

令和4年度 頤娃小学校グランドデザイン

学校経営の基調

- 公教育の法・理念
- 県・地区・市の重点
- 地域・学校・児童の実態
- 保護者、校区民の要請

学校経営の方針

- 人権尊重の精神、豊かな心の育成
- 学ぶ意欲、運動能力の向上、基礎学力の定着
- 校区の素材活用、郷土愛の育成
- 社会に開かれた教育課程の実践
- 業務改善の推進

本校の教育課題

- 確かな学力の定着
- 自己肯定感の育成
- 気力、体力、運動能力の向上
- 開かれた学校の創造
- 幼小併設校の推進

学校教育目標

故郷に誇りをもち、気付き、考え、行動し、未来を担う頤娃の子を育てる。
～自己肯定感を育む教育を推進する～

頤娃小学校がめざす姿

めざす子どもの姿(校訓)

かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子
え：笑顔であいさつ明るい子 い：生き生き学習輝く子 の：望み大きく努力の子 子：根性で体鍛える元気な子

めざす教職員の姿

子どもがいるから職がある
初心に立ち返り取り組む教職員
絶えず研鑽に努める教職員
意欲をもち、協働する教職員
教児一体、額に汗する教職員

めざす学校の姿

子どもがいるから学校がある
学びの聲がこだまする学校
心の絆を大切にする学校
だれもが居心地のよい学校
家庭・地域に信頼される学校

めざす家庭の姿

子どもがいるから家庭がある
優しさと厳しさのある家庭
学習・生活習慣を躾ける家庭
学校と連携する家庭
体験活動を大切にする家庭

重点課題と努力点・具体策

確かな学力の育成

- ア 確かな学力の育成
 - ・授業3ポイントの徹底
 - ・ラスト10分の確保
- イ 「学びのしつけ」の徹底
 - ・教師キラリ9の継続
 - ・頤娃っ子キラリ7の継続
- ウ 個に応じた支援の充実
 - ・実態把握と連携
- エ 人権同和教育の推進
 - ・よさを伸ばす雰囲気
- オ 道徳教育の充実
 - ・別葉の点検・改善
- カ 表現力の育成
 - ・発表の場の確保
- キ ICT活用の促進
 - ・タブレットの活用促進
 - ・機器持ち帰りへの対応
- ク 家庭教育の充実
 - ・家庭学習時間の確保
 - ※30分、45分、60分以上
 - ・家庭学習の手引き改善
- ケ 指導法改善推進
 - ・テーマ研による授業検証
 - ・相互参観授業の実践

成果目標

- ☆単元末テスト80%以上
- ☆漢字・計算90%以上
- ☆全国学テ県平均点以上
- ☆NRTSS55P以上
- ☆鹿学定正答率70%以上

自己肯定感の育成

- ア いじめ問題等の未然防止、早期発見・早期対応
 - ・実態把握、教育相談充実
 - ・報・連・相・打の徹底
 - ・一晩置かない早期対応
- イ 関係機関との連携
 - ・楽しい学級・学校づくりの推進
- ウ 認め、ほめる授業の創造
 - ・縦割り班活動の拡大
 - ・一事徹底・生活の基本4項目の全校実践
 - ・一事徹底「笑顔であいさつ、心地よい言葉遣い」
 - ※笑顔で語先後礼
 - ・生活の基本4項目
 - ・礼儀、時間、整頓、自学
- エ 豊かな感性を育む体験活動の充実
 - ・読書活動の充実
 - ※小冊子「夢ひろがる」の活用促進
 - ※学年目標冊数の設定
 - ・地域に学び、地域の職を知る体験活動の推進

成果目標

- ☆教育相談年2回(保・児)
- ☆縦割り班活動の回数増
- ☆一事徹底の浸透
- ☆120冊、100冊、80冊以上

たくましい心と体の育成

- ア 基本的な生活習慣の育成
 - ・生活リズムの確立
 - ・う歯予防・治療の促進
- イ 鍛える教科体育、楽しさを学ぶ第3体育の充実
 - ・授業での補教運動の実施
 - ・個人めあての設定と評価
 - ※一校一運動(なわとび)
- ウ 体力テスト県平均以上
 - ・安全指導・管理の充実
 - ・予告なし避難訓練の実施
- エ 校内安全指導の徹底
 - ・食に関する指導
 - ・給食指導の共通実践
 - ※各種交流給食の実施
- オ 清掃、緑化活動の充実
 - ・縦割り班の清掃活動の充実
 - ・朝ボラ清掃の励め
 - ・人権の花運動への取組

成果目標

- ☆体力テスト県平均以上
- ☆う歯治療率100%
- ☆チャレンジかじょうけん入り
- ☆校内事故ゼロ

幼小併設校の推進

- ア 幼小一貫教育の試み
 - ・スタートカリキュラムの共有
 - ・幼小交流活動の充実
 - ・研究大会への協力(11月)

開かれた学校の創造

- ア 家庭・地域の教育力向上
 - ・PTA活動の活性化
 - ・生活リズムの確立
 - ※わが家の誓約書啓発
- イ 地域子ども会への協力
 - ・環境・郷土教育の充実
 - ・郷土素材の教材化と活用
 - ※海、山、川、畑、人...
- ウ 開かれた学校づくり推進
 - ・保護者、学校評議員会による学校評価の実施
 - ・学校応援団との連携
 - ・HP、新聞、市広報誌等による情報発信

成果目標

- ☆外部人材活用数アップ
- ☆学級PTA出席80%
- ☆外部評価3.5以上
- ☆新聞投稿数アップ

業務改善への取組

- ア 教職員の意識改革
 - ・会議5分前終了
- イ 1Action, 1Tryの設定
 - ・校務事務負担の軽減
- ウ スズキ校務の活用推進
 - ・授業準備の効率化
 - ・日課表の改善
 - ・教材データの共有化

一事徹底：笑顔であいさつ、心地よい言葉遣い

学校自慢：創立153周年

学校自慢：めざせあいさつ県下一

一校一運動：なわとび運動

学校の願い：笑顔で登校、満足して下校

学校自慢：日本一のカイツカイブキ

頤娃小学校・家庭・郡地区の合い言葉：ふるさとと 共に歩む 頤娃の子

学校自慢：伝統の地引き網体験活動

今年の職員キーワード(継続)：Teamで取り組む頤娃幼小=共有・協働・共感

学校自慢：伝統の大野嶽相撲大会

